

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	37535
事業名	私立幼稚園等補助金					
評価担当課	所属名	子)子育て支援 施設運営課				
	課長名	大木	担当者名	羽野	電話番号	011-211-2986
施策名	主	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全				
	副					
アクションプラン	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費	<input checked="" type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input checked="" type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他				
	目的	短期	幼児期における子どもの健やかな発達を促進するために私立幼稚園等に必要な補助を実施する。			
		長期	安心して子どもを生み育てられる環境の充実に目的とする。			
	取組内容	①私立幼稚園等特別支援教育事業費補助金:要支援児の保育に関わる教諭の人件費を補助する。 ②私立幼稚園等教材教具等整備費補助金:教材教具・管理用備品の購入及び施設の維持・補修に対して補助する。 ③札幌市私立幼稚園連合会研修費等補助金:札幌市私立幼稚園連合会が行う研修事業等を補助する。				
実施結果	①要支援児の受け入れを行っている125施設に補助を実施した。 ②教材教具を要する127施設に補助を実施した。 ③札幌市私立幼稚園連合会が行う研修事業等に補助を実施した。					
事業実施における工夫点	なし					
対象者	私立幼稚園等	開始	0	年度	終了	0
関連法令・条例・要綱等	私立学校法、私立学校振興助成法、札幌市私立学校助成規則					
他都市の状況	全ての政令市で私立幼稚園に対する補助事業を実施している。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	
事業費	693,682	725,000	701,244	730,000	
うち特定財源	0	0	180	0	
人工	0.9	0.9	0.4	0.3	
人件費	6,480	6,480	2,808	2,130	
計(事業費+人件費)	700,162	731,480	704,052	732,130	
事業費の内訳	令和4年度決算	①特別支援教育事業費補助金550,077千円 ②教材教具等整備費補助金127,701千円 ③私立幼稚園連合会研修費補助金23,465千円			
	令和5年度予算	①特別支援教育事業費補助金579,535千円 ②教材教具等整備費補助金127,000千円 ③私立幼稚園連合会研修費補助金23,465千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	私立幼稚園・認定こども園への補助			
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
	実施	実施	実施	実施	
活動指標2	指標名				
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定	
成果指標1	指標名	特別支援教育事業費補助の実施率			
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
	100%	100%	100%	100%	
成果指標2	指標名				
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	①私立幼稚園等における要支援児の受入拡大ができた。 ②私立幼稚園等への補助を通じて教育内容の充実、保護者負担の軽減に寄与できた。 ③私立幼稚園等の振興のための研修を通じて教員等の資質向上を図ることができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	①要支援児数は増加しているものの、受け入れを行っている施設に対し補助ができていることから、事業規模は適切である。 ②私立幼稚園全園を対象にしており、事業規模は適切である。 ③私立幼稚園等の振興及び教職員の資質向上に必要な規模で実施できた。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	①支援担当教諭の資格及び研修受講歴を確認した上で補助をしており、適切な手法である。 ②各施設で購入した項目を精査した上で補助しており、適切な手法である。 ③幼児教育の専門知識を持つ私立幼稚園連合会が、教職員の資質向上を目的とした研修事業等を行うことは適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	①要支援児を受け入れる施設に対し補助が実施できていることから、ニーズにしている。 ②私立幼稚園等全園を対象にしており、対象者のニーズにしている。 ③研修等の事業に対して継続して補助を実施しているため、ニーズにしている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし	見直し効果額 (前年度)	0	千円	
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	私立幼稚園等に補助を実施し、要支援児の受入拡大や教育内容の充実、教員等の資質向上に寄与することができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止			
	予算	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 政令指定都市私立幼稚園団体協議会の開催経費補助のため、予算額の拡充が見込まれる。			
		見直し効果額	0	千円	